

平成31年度 事業実績

(公益目的事業)

I	常設展示	P. 1
II	特別展示	P. 7
III	資料収集	P. 10
IV	資料管理・保全	P. 11
V	調査・研究	P. 12
VI	図書室等の運営	P. 13
VII	教育普及	P. 15
VIII	施設維持管理・貸出等	P. 28
IX	広報事業	P. 31

※年度表記は、平成 31 年度としている。

※台風の影響で、令和元年 10 月 12 日（土）は臨時休館、13 日（日）は 13 時から開館した。

※令和 2 年 2 月 29 日から 3 月 31 日まで、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため全館休館した。

I 常設展示

1 本館

(1) 常設展示

5・6階の常設展示室(8,934㎡)において、定期的な展示替えを計24回行ない、常時約2,500点の資料を展示するとともに、学芸員の研究成果を反映させた企画展や常設展示各コーナーで開催する特集展示を実施した。また、常設展の賑わい・楽しさを演出した「えどはく寄席」、テーマ性を持って展示解説をする「ミュージアムトーク」を定期的に開催した。外部機関と協力した企画展として、「発掘された日本列島2019」展(文化庁と共催)、「18世紀ソウルの日常―ユマンジュ日記の世界―」展(ソウル歴史博物館と共催)、「天下泰平―将軍と新しい文化の創造―」展(公益財団法人徳川記念財団と共催)を開催した。

[常設展観覧者実績]

区分	平成31年度(A)	対前年比(A/B)	平成30年度(B)
一般	372,501人	91.1%	408,681人
学生	37,870人	95.4%	39,680人
高校生、都外中学生	64,171人	112.9%	56,835人
65歳以上	97,367人	92.7%	105,057人
無料観覧者 (小学生、都内中学生、 教育活動、視察等)	267,224人	89.5%	298,615人
合計	839,133人	92.3%	908,868人
開館日数	289日	91.2%	317日
1日あたり観覧者数	2,904人	101.3%	2,867人

(2) 企画展

東京都江戸東京博物館のミッションに沿った企画展を5回実施した。

① 市民からのおくりもの2018 ―平成28・29年度 新収蔵品から―

会期 平成31年3月19日(火)～令和元年5月6日(月)

会場 常設展示室 5F 企画展示室

主催 東京都 東京都江戸東京博物館

内容 博物館が近年新たに収蔵した資料を公開する展覧会。平成28年度・29年度は2,000点余りの資料を収蔵し、その中から厳選し展示した。寄贈者に感謝の意を表するとともに博物館の資料収集活動に対する都民の理解を深める機会とした。

担当 事業企画課資料係(田中裕二、益田茂、栗屋朋子、眞下祥幸、落合則子、白井麻美、岡真理香)

② 発掘された日本列島2019

会期 令和元年6月1日(土)～7月21日(日)

会場 常設展示室 5F 企画展示室

主催 文化庁、東京都、東京都江戸東京博物館、東京新聞、全国新聞社事業協議会

協力 全国公立埋蔵文化財センター連絡協議会、全国埋蔵文化財法人連絡協議会、公益財団法人元興寺文化財研究所、共同通信社

後援 全国史跡整備市町村協議会

内容 文化庁との共催で、最新の発掘調査の成果を公開する巡回展。今年度は、日本で初めて和歌が刻まれた土器が出土したケカチ遺跡をはじめとする 12 遺跡 473 点を速報展示した。また、特集として「福島の復旧・復興と埋蔵文化」「記念物 100 年」の展示も行った。地域展は「道灌がみた南武蔵」と題し、太田道灌が活躍した戦国時代前半の遺跡を紹介し、東京の原風景を考える場とした。

担当 川口友子(事業企画課展示事業係)、齋藤慎一(事業企画課展示事業係)

③ いきものがたり 江戸東京のくらしと動物

会期 令和元年 8 月 6 日(火)～9 月 23 日(月・祝)

会場 常設展示室 5F 企画展示室

主催 東京都 東京都江戸東京博物館

内容 夏休みの時期、幅広い世代で楽しんでいただける展覧会として企画。「愛されたいきもの」「働くいきもの」「人気のいきもの」「いきものデザイン」の 4 つの展示構成で、江戸東京の人々と、いきものとの多様な関係の歴史と文化を、館蔵資料を中心に紹介した。

担当 西村直子(事業企画課展示事業係)、津田紘子(事業企画課展示事業係)

④ 18 世紀 ソウルの日常－ユマンジュ日記の世界－

会期 令和元年 10 月 22 日(火・祝)～12 月 1 日(日)

会場 常設展示室 5F 企画展示室

主催 東京都 公益財団法人東京都歴史文化財団 東京都江戸東京博物館、ソウル歴史博物館

内容 ソウル歴史博物館との国際交流事業として開催した展覧会。18 世紀の漢陽(現在のソウル)に生き、弱冠 34 歳で没した無名の青年ユマンジュが遺した貴重な日記を通して、ソウルの風景やそこに暮らす人々の日常生活を紹介した。

担当 市川寛明(都市歴史研究室)、朴 美姫(都市歴史研究室)
熊谷紀子(事業企画課展示事業係)

⑤ 天下泰平－将軍と新しい文化の創造－

会期 令和 2 年 1 月 2 日(木)～2 月 16 日(日)

会場 常設展示室 5F 企画展示室

主催 東京都 公益財団法人東京都歴史文化財団 東京都江戸東京博物館、公益財団法人徳川記念財団

内容 公益財団法人徳川記念財団が所蔵する徳川家ゆかりの品々を紹介する展覧会。徳川宗家に伝来する歴代将軍の書画、幕府御用絵師の狩野派が描いた絵画作品などを通して、約 260 年間にわたり天下泰平の世をもたらした徳川家の歴代将軍が、文化創造の貢献者としての側面も持っていたことを紹介した。

担当 齋藤慎一(事業企画課展示事業係)、川口友子(事業企画課展示事業係)

(参考) 市民からのおくりもの 2019 －平成 30 年度 新収蔵品から－

会期 令和 2 年 3 月 10 日(火)～5 月 10 日(日)

会 場 特別展示室
 主 催 東京都 公益財団法人東京都歴史文化財団 東京都江戸東京博物館
 内 容 博物館が新たに収集した資料を公開する展覧会。新型コロナウイルス感染拡大防止により中止となったため、会期、一部展示資料を変更の上、特別展示室にて開催した。（会期：令和2年8月4日（火）～9月27日（日））
 担 当 事業企画課資料係（市川寛明、栗屋朋子、眞下祥幸、落合則子）

2 分館（江戸東京たてもの園）

（1） 野外収蔵（分館）

「江戸東京たてもの園」において、現地保存が不可能な文化的・歴史的価値の高い建造物を移築・復元し、保存・展示する。さらに、復元建物の内部では生活民俗資料の展示を行うとともに、町並みを再現・創造し、優れた建築文化の理解に役立つ展示を行う。また、四季折々の行事や遊び、伝統工芸の実演を行う。

〔入園者実績〕

区 分	平成31年度(A)	対前年比(A/B)	平成30年度(B)
一 般	103,943人	90.9%	114,319人
大学生・専門学校生	13,108人	95.0%	13,799人
高校生、都外中学生	3,674人	102.2%	3,594人
65歳以上	30,005人	96.0%	31,247人
無料観覧者 (小学生、都内中学生、 教育活動等)	78,933人	84.6%	93,243人
合 計	229,663人	89.6%	256,202人
1日あたり観覧者数	823人	100.5%	819人

※開園日数 平成31年度：279日、平成30年度：313日

① 収蔵建造物の展示

- ・30棟の復元建造物内の展示により、江戸東京の生活や商いの諸相を明らかにする。
- ・季節ごとに演示品や建具の展示替えを行った。

② 情景再現事業

来園者に復元建造物の歴史的価値をより深く理解いただくため、季節ごとの催しとして、春「こどもの日イベント」、夏「下町夕涼み」、秋「紅葉とたてもののライトアップ」などの各イベントを行った。

・こどもの日イベント

内 容 おつかいゲーム、ベーゴマ大会、兜・風車づくりなど、昭和中期における子供の遊びを演出した。

期 間 令和元年5月4日（土・祝）・5日（日・祝）

会 場 園内全体

参加者数 9,316人（当日来園者）

・下町夕涼み

内 容 盆踊り、こども神輿、夜店など、昭和中期における東京下町地域の夏祭りや夕涼みの風情を演出した。

期 間 令和元年8月3日（土）・4日（日）

会 場 園内全域

参加者数 11,967人（当日来園者）

・紅葉とたてもののライトアップ

内 容 園内の色づく木々や建造物にやわらかな光を当て、夜のたてもの園という非日常的空間を演出した。

期 間 令和元年11月22日（金）・23日（土・祝）・24日（日）

会 場 園内全域

参加者数 4,508人（当日来園者）

・江戸の正月を楽しもう

内 容 太神楽、関野町餅つき歌（小金井市無形民俗文化財）など正月らしい事業を実施した。

期 間 令和2年1月2日（木）・3日（金）

会 場 東ゾーン

参加者数 10,955人（当日来園者）

・正月の昔あそび

内 容 書き初め、双六、福笑いなどの遊びとお囃子など、正月にふさわしい催しを実施した。

期 間 令和2年1月11日（土）・12日（日）

会 場 園内全域

参加者数 3,334人（当日来園者）

・成人の日はたてもの園へ

内 容 新成人をお祝いし、園内での人力車乗車体験や復元建造物「常盤台写真場」での記念撮影を実施した。

期 間 令和2年1月13日（月・祝）

会 場 園内全域

参加者数 1,690人（当日来園者）

・たてもの園フェスティバル

※新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から東京都の要請により事業を中止とした。

・伝統工芸の実演

内 容 復元建造物内で、現代東京に伝わる各種の伝統工芸の製作実演を行い、職人の手わざを体感できるようにした。

実施項目 江戸木彫刻／江戸べっ甲／桐たんす／江戸木目込人形／表具／和竿／表具経師／べっ甲／つりしのぶ／建具組子／手描き友禅／江戸指物／

木版染め／村山大島紬／江戸提灯／江戸象牙／染付／東京仏壇／牙彫
／江戸筆／江戸紹ぎし／和裁

期 間 平成31年4月～令和2年2月のうち22日間

会 場 江戸東京たてもの園 植村邸、川野商店他

※新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から東京都の要請により3月の事業を中止とした。

・ 綱島家年中行事

内 容 世田谷区岡本に立地していた復元建造物「綱島家」を舞台に、農家の年中行事を再現した。

実施項目 梅干しづくり／盆、梅の土用干し／十五夜飾り／十三夜飾り／大根干し／小正月／繭玉飾り／節分

期 間 平成31年4月～令和2年2月

会 場 江戸東京たてもの園 綱島家他

・ ちょっと涼しいたてもの園

内 容 伝統的な「涼」のとり方から、ミストシャワーまで、暑い夏をのりきる暮らしの工夫を体感できるよう演出した。

実施項目 夏仕様の建具／風鈴の展示／日傘の貸し出し／打ち水／グリーンゲートの設置／ミストシャワーなど

期 間 令和元年7月23日（火）～9月1日（日）

会 場 江戸東京たてもの園 川野商店、花市生花店、西川家別邸、八王子千人同心組頭の家他

③復元建造物の管理・保全

復元建造物の日常的な点検、復元建造物の修繕工事、建造物の燻蒸、展示清掃、襖・障子・畳 の替え工事及び劣化調査等を実施した。

④教育普及事業【ミュージアムトーク】

学芸員による展示解説。毎月1回（第4土曜日）に実施。復元建造物や特別展について詳しく紹介した。

〔内 容〕

4月27日（土）：「武蔵野の歴史と民俗」みどころ② 丸山はるか（学芸員）

5月25日（土）：新指定建造物について 一小出邸—

安藤 亜由美（建築技術専門員）

6月22日（土）：綱島家の年中行事 友野千鶴子（学芸員）

7月27日（土）：万徳旅館 高橋英久（学芸員）

8月24日（土）：子宝湯 新田太郎（学芸員）

9月28日（土）：武居三省堂 阿部由紀洋（学芸員）

10月26日（土）：吉野家（農家） 丸山はるか（学芸員）

11月23日（土）：鍵屋 小林愛恵（学芸員）

12月21日（土）：特別展「小出邸」みどころ 安藤 亜由美（建築技術専門員）

1月25日（土）：植村邸 阿部由紀洋（学芸員）

2月22日（土）：丸二商店と荒物 高橋英久（学芸員）

※新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から東京都の要請により3月の事業を中止とした。

- ⑤ 教育普及事業【たてもの園セミナー（えどはくカルチャー）】
 特別展「小出邸と堀口捨己 - 1920年代の創作活動、その造形と色彩 -」
 1月18日（土）
 「小出邸とその設計者、堀口捨己について」
 講師：山崎鯛介 参加者：64名
 2月1日（土）
 「小出邸と堀口捨己展の見どころ」
 講師：安藤亜由美 参加者：56名

- ⑥ 教育普及事業【スクールプログラム】
 「昔暮らし体験」「職場体験学習」等を実施した。

・昔暮らし体験
 園内茅葺き民家内などでの石臼での粉ひき・火鉢体験や、各復元建造物での昔の道具探しなどを実施した。
 参加人数 35校 2,985人

・職場体験学習
 参加人数 7校 20人

- ⑦ 教育普及事業
- ・情景再現事業の中で子供向け教育普及事業を実施した。
 「下町夕涼み」 盆踊り練習会
 「正月の昔あそび」 手袋で干支のネズミをつくろう！
 - ・園内にて復元建造物を活用し、常時、外国人向け教育普及事業を実施した。
 「小寺醤油店」で量り売り体験、「川野商店」で和傘体験、「常盤台写真場」で写真撮影体験

⑧ その他の事業

【ビジターセンター展示】

- ・小金井公園の桜写真展
 平成31年4月1日（月）～4月14日（日）
 4月16日（火）～5月6日（月）
 5月8日（水）～5月19日（日） 4,641人
- ・小金井薪能写真展
 令和元年8月14日（水）～8月25日（日） 814人
- ・小金井公園桜写真展（令和2年3月17日～4月12日）
 ※新型コロナウイルス感染症の影響により中止

【東京大茶会 2019】

令和元年10月5日（土）・6日（日） 入園者数 10,400人

(2) 展覧会

- ① 武蔵野の歴史と民俗ー「武蔵野郷土館」がのこしたモノたちー

会期：平成31年4月1日（月）～6月23日（日）

入園者数：74,265人

（平成30年度分会期：2/5～3/31 全会期入園者数：119,313人）

園の前身である武蔵野郷土館から移管された考古・美術・民俗・写真資料等について詳しく展示し、国指定重要文化財「土製耳飾」などについて紹介した。

② 小出邸と堀口捨己—1920年代の創作活動、その造形と色彩—

会期：令和元年10月16日（水）～令和2年2月16日（日）

入園者数：79,994人

当園に移築された小出邸の特徴や魅力及び展示や保全のあり方について紹介。復元建造物の歴史的価値および、建造物保全の文化的意義について理解を広めた。

③ 「ぬくもりと希望の空間～大銭湯展」

会期：令和2年3月3日（火）～3月31日（火）

※新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から東京都の要請により事業を中止とした。

II 特別展示

「3T戦略」(Target 対象入館者、Timeliness 時宜、Top of sales point 目玉資料)のもと、時代やジャンルなどバラエティー豊かなラインナップの特別展を開催し、2020年東京オリンピック・パラリンピック大会の機運盛り上げ事業として実施した。

また、日頃の調査研究の成果と充実した収蔵品を紹介した特別展では、江戸博の独自性をアピールすることができた。運営面では、関連事業やタイアップ企画の実施、各種チケットの販売による収入率アップなど、コスト意識を踏まえて事業を推進した。

平成31年度の特別展は、延べ201日間（当初予定234日間）の会期に計293,139人の観覧者を迎えることができたが、新型コロナウイルス感染症の拡大等により33日間の会期を短縮した。

1 特別展「江戸の街道をゆく—将軍と姫君の旅路—」

期 間 平成31年4月27日（土）～令和元年6月16日（日）延べ47日間

会 場 1階 特別展示室

内 容 江戸時代、幕府によって整備された街道には、さまざまな人や行列が往来して活気にあふれ、なかでも将軍や姫君たちのそれは長大で、沿道の人々を圧倒した。将軍は上洛や日光東照宮への参詣（日光社参）で諸大名を引き連れて自らの権威を誇示し、また、将軍家の御台所となる姫君は、婚礼が決まると莫大な費用をかけて制作された婚礼道具などを携え、主に中山道を通って京都から江戸へ下向した。

本展覧会では、将軍の上洛と日光社参、姫君たちの江戸下向に関わる資料を通して、「江戸の街道」における旅路をたどった。篤姫所用の油単や、徳川家茂の上洛錦絵など、館蔵資料のみで展示を構成した。展示資料をもとに、砂絵で描いた物語をリアルタイムで観客に披露する「サンドアートパフォーマンス」の実施により、幅広い層へのアピールを行った。

観 覧 料 一般1,000円、大学・専門学校生800円、小中高校生・65歳以上500円

入場者数 54,385人（1日平均 1,157人）

関連イベント

サウンドアートパフォーマンス公演

出演：サウンドアート集団「SILT」

日時：5月3日（金）～6日（月）

① 11時00分～ ②13時～ ③15時～（各回30分程度）

会場：江戸東京博物館

参加費：無料

参加者数：計574人

担当 杉山 哲司（事業企画課 展示企画係）

2 特別展「江戸のスポーツと東京オリンピック」

期間 令和元年7月6日（土）～令和元年8月25日（日）延べ45日間

会場 1階 特別展示室

主催 公益財団法人東京都歴史文化財団 東京都江戸東京博物館、読売新聞社、公益財団法人日本オリンピック委員会、公益財団法人日本障がい者スポーツ協会日本パラリンピック委員会

内容 2020年東京オリンピック・パラリンピック開幕1年前の時期にあわせ、日本におけるスポーツとオリンピックの歴史をひもとく展覧会を開催した。江戸時代の蹴鞠、相撲、打毬などの伝統的な競技に関する絵画や道具類から、近代オリンピックで活躍した日本人選手の競技用具やメダルなど、多彩な資料を展示。江戸時代に行われていた伝統的な「スポーツ」を概観し、明治以降の近代スポーツの受容と流行からオリンピックへの参加、そして1964年東京オリンピックへの大会招致と開催に至るまでの歴史を紹介した。2020年東京オリンピック・パラリンピック大会の概要なども紹介し、東京で2度目の開催となる世界的スポーツの祭典への期待感を盛り上げた。

観覧料 一般1,000円、大学・専門学校生・中（都外）高校生・65歳以上500円

入場者数 49,626人（1日平均 1,128人）

関連イベント

夏休み自由研究デー

展覧会の鑑賞と学芸員による見どころ解説を通して、小中学生の学びの機会とした。「夏休み自由研究ノート」の制作・配布のほか、一般社団法人日本ボッチャ協会の指導員による「ボッチャ体験」を実施した。

日時：8月5日（月）全3回

① 9時30分～12時 ②12時～14時30分 ③14時30分～17時

会場：江戸東京博物館

参加費：無料

参加者数：計892人

担当 沓沢 博行（都市歴史研究室）

吉田奈緒子（東京都庭園美術館）

小酒井 大悟（事業企画課 展示企画係）

杉山 哲司（同）

3 特別展「土 サムライ—天下太平を支えた人びと—」

期間 令和元年9月14日（土）～令和元年11月4日（月・祝）延べ46日間

※上記のうち10月12日（土）は臨時休館 延べ45日間

会場	1階 特別展示室
主催	公益財団法人東京都歴史文化財団 東京都江戸東京博物館、朝日新聞社
内容	日本をイメージするキーワードとして国内外を問わず多く用いられる「サムライ」。しかし、その言葉から何を連想するのかは人によって様々で、武家・武士・侍・浪人など、歴史的な実態をふまえてサムライという言葉を使用しているとは言いがたい。そこで本展では、現代のサムライイメージの原点である江戸時代のサムライ＝「士」の暮らしや仕事のありさまを展覧し、サムライのイメージを見直すものとした。本展では、いわゆる武士道書に登場するような、抽象的なサムライの姿のみならず、徳川將軍の居所として世界有数の大都市であった江戸で、サムライがいかに活動していたのか、絵画作品や古写真から浮き彫りにした。また、サムライの家に伝来した所用品の数々から、江戸時代の人びとが見聞きし親しんでいた生のサムライの生活を紹介した。
観覧料	一般1,100円、大学・専門学校生880円、小・中・高校生・65歳以上550円
入場者数	48,363人（1日平均 1,075人）
担当	岡塚 章子（都市歴史研究室） 田原 昇（事業企画課 展示企画係） 小酒井 大悟（同）

4 特別展「大浮世絵展—歌麿、写楽、北斎、広重、国芳 夢の競演」

期間	令和元年11月19日（火）～令和2年1月19日（日）延べ46日間
会場	1階 特別展示室
主催	公益財団法人東京都歴史文化財団 東京都江戸東京博物館、国際浮世絵学会、読売新聞社
協賛	光村印刷
内容	当館では平成26年1月に、開館20周年記念特別展「大浮世絵展」を開催し、浮世絵の通史における優品を紹介した。その第二弾となる本展では、喜多川歌麿、東洲斎写楽、葛飾北斎、歌川広重、歌川国芳という5人の人気浮世絵師に注目し、国内のほか、欧米の美術館、博物館、個人コレクションなどから、その代表作を集め展示した。 歌麿の美人画、写楽の役者絵、北斎・広重の風景画、国芳の勇壮な武者絵と機知に富んだ戯画、と5人の絵師の得意ジャンルに絞り、優品の数々を国内外から一堂に会した。これにより、有名な作品への注目に加え、目の肥えた浮世絵ファンからも、高い満足度を得た。
観覧料	一般1,400円、大学・専門学校生1,120円、高校生・65歳以上700円
入場者数	129,768人（1日平均 2,496人）
担当	小山 周子（都市歴史研究室） 小酒井 大悟（事業企画課 展示企画係）

5 特別展「江戸ものづくり列伝 ニッポンの美は職人の技と心に宿る」

期間	令和2年2月8日（土）～令和2年4月5日（日）延べ50日間 ※変更後：令和2年2月8日（土）～令和2年2月28日（金）延べ18日間
会場	1階 特別展示室
主催	公益財団法人東京都歴史文化財団 東京都江戸東京博物館、毎日新聞社

後援	イタリア大使館
協賛	大日本印刷、トヨタ自動車
協力	ベニス東洋美術館、アリタリアーイタリア航空
内容	日本の伝統美術や、建具、調度品に宿る日本人の豊かな遊び心と繊細な美意識は、開国後に日本を訪れた西洋人に大きな驚きをもたらした。その日本の美を作り上げてきたのが、ものづくりに生きる職人たちである。 本展では、特色のある名工たちの仕事と人生に光を当てた。江戸が生んだ二人の蒔絵師・原羊遊齋と柴田是真、尾形乾山の陶法を継承し軍艦の建造をも手がけた鬼才の陶工・三浦乾也、葛飾北斎の弟子で絵師から金工の道に転じた府川一則、江戸の職人氣質を受け継ぎ超細密工芸を究めた小林礫齋——彼らは江戸東京で活動し、時代の空気を吸いながら、それぞれの道に精進し、新たな創造に挑戦し続ける人生を歩んだ。 なお当館のコレクションのほか、明治前期に日本を訪れたヨーロッパ貴族バルディ伯爵の日本コレクション（ベニス東洋美術館所蔵）の日本での初公開が、高い評価を得た。 新型コロナウイルス感染症の拡大により会期中で閉幕となったが、オンラインによる展示解説の生中継が広く注目を集めた。
観覧料	一般1,100円、大学・専門学校生880円、小・中・高校生・65歳以上550円
入場者数	11,077人（1日平均 583人）
関連イベント	木版画摺り実演 和紙の老舗・日本橋「榛原」による摺りの実演を行った。 日時：2月22日（土） ①11時00分～ ②13時～ ③15時～ 会場：江戸東京博物館 特設ショップ内 実演：須田歩己（摺師） 参加費：無料
担当	落合 則子（事業企画課 資料係） 田中 裕二（同） 杉山 哲司（事業企画課 展示企画係）

Ⅲ 資料収集

1 資料収集

貴重な文化遺産を継承していくため、東京都と調整を図りながら厳選した資料収集を行った。

平成31年度は、資料収蔵委員会（収集部会・評価部会）を2回開催し、第1回目（10月31日）では購入資料を、第2回目（1月28日）では購入・寄贈資料を付議した。

(1) 平成31年度資料収集点数 (単位：点)

区 分	購 入	寄 贈	その他	計
標 本 資 料	57	127	0	184
図 書 資 料	598	0	8,497	9,095
映像音響資料	0	26	0	26
合 計	655	153	8,497	9,305

(2) 主な収集資料（寄贈資料より）

分 類	資 料 名
絵 画	色紙絵「静物（水仙と豆花）」
絵 画	浅草福富町名主永野家資料 2点
文書類	「無酔独言（原本）」 勝小吉
文書類	永井荷風書簡永井威三郎宛（父死去の知らせ）」
生活民俗	御杣取次所看板

2 資料制作

擬宝珠、「空気の缶詰」の複製を制作した。

(1) 擬宝珠 1基

(東京都江戸東京博物館蔵 資料番号：12000102)

(2) 大東京名物「空気の缶詰」 1点

(東京都江戸東京博物館蔵 資料番号：99000849)

3 収蔵品の購入

常設展・企画展・特別展に有効に利用される資料、及び利用頻度が高く保全面で留意する必要がある資料を優先し、資料総体の消耗を防ぎつつ、魅力ある博物館運営が図れるよう、資料を購入した。

[主な購入資料]

分 類	資 料 名
絵 画	笹屋山中家歴代肖像画 長谷川雪旦／画
絵 画	紅葉山人講法会図巻
絵 画	吉原仲之町 奥村政信／画
絵 画	大日本金龍山之図 亜欧堂田善／画
工芸品	三味線 銘「岸波」 酒井抱一／画 原羊遊斎／蒔絵
文書類	小人目付中村養之助御用留類 16点

IV 資料管理・保全

1 資料管理・保全

(1) 資料の修理

75点の修理を行った。

[内 訳]

資 料 分 類	点 数
標 本 資 料	40
絵 画	3
工 芸 品	2
文 書 類	8
典 籍	17
生 活 民 俗	10
映像音響資料	0
図書資料	35

(2) 資料の収蔵

令和2年3月末日現在、626,406点（データ点数）を収蔵、管理している。

【内 訳】

標本資料	322,303点
映像音響資料	42,505点
図書資料	261,598点

(3) 資料の貸出

令和2年3月末日現在、博物館等の依頼に応じて、26件（376点）の資料を貸し出した。

(4) 寄託資料の更新

2件、4,192点の寄託資料の更新を行った。

2 コンピュータシステムの運営

資料の収集から資料の各種事業(常設・企画展示、調査研究、資料のメンテナンス、貸出等)への活用までを支援するとともに、来館者に対して図書室の端末等により資料の情報を文字と画像で提供するため、コンピュータシステム(資料情報システム)の管理及び運用を行った。

V 調査・研究

1 都市歴史研究室における研究テーマ

(1) 年間特定研究「外からみた江戸東京」

- ①外国人がみた江戸東京
- ②地方人がみた江戸東京

(2) 共同研究

- ①比較都市研究 江戸と大坂（大阪歴史博物館との共同研究）
- ②在外日本コレクションの所在調査（国立歴史民俗博物館との共同研究）

2 書籍の編集・刊行

- (1) 『東京都江戸東京博物館紀要 第10号』の刊行

発行年月日 令和2年3月30日

発行部数 1,400部

構成

1. 松野友美 「東遊日記」から見る昭和初期の東京
2. 早川典子 「廣田理太郎邸資料の紹介」
3. 岩城紀子 「久保田米僊と徳富蘇峰—国民新聞社入社の際を中心の一—」
4. 市川寛明 「日用人足請負商人米屋田中家創業期の諸記録について」
5. 寺田早苗 「明治の働く女性「保姆」の絵画イメージ—久保田米僊《園児遊戯図》《唐子遊び図》の位置づけ—」
6. 田中裕二 「見世物の規制と制度化をめぐる近代盛り場の変遷—公園・博覧会・勸工場—」
7. 小酒井大悟 「鹿嶋屋東店の成立と展開」
8. 杉山哲司 「徳川將軍家の婚礼と婚礼行列絵巻」
9. 齋藤慎一 「高橋」と「大橋」～中世から近世初頭における江戸城下の景観～

(2) 『江戸東京博物館史料叢書11 新古改撰誌記1』の刊行

発行年月日 令和2年3月13日

発行部数 1,000部

構成

凡例

新古改撰誌記 卷之一

新古改撰誌記 卷之貳

新古改撰誌記 卷之三

新古改撰誌記 卷之四

人名索引

(3) 『江戸東京博物館調査報告書34 名所江戸百景と浪花百景』の刊行

発行年月日 令和2年3月30日

発行部数 1,200部

構成

凡例

小山周子 「名所江戸百景」と「浪花百景」—作品目録と順番に関して—
東京都江戸東京博物館所蔵「名所江戸百景」

—『江戸名所図会』『絵本江戸土産』とともに
大阪歴史博物館所蔵「浪花百景」

—『摂津名所図会』『浪華の賑ひ』とともに
豆谷浩之 「浪花百景」のうち「堀川備前陣家」について

「名所江戸百景」分布図

「浪花百景」分布図

VI 図書室等の運営

博物館資料として収集した図書の保存及び来館者への閲覧、レファレンスサービスを行った。

閉室期間中（令和元年12月9日（月）～同年12月27日（金））は、蔵書整理、開架書籍の入替えなどを実施した。

1 図書室利用状況

入室者数	26,317人
閉架図書請求数	2,091冊
マイクロフィルム請求数	159件
図書複写申請数 (モノクロ)	6,778枚
図書複写申請数 (カラー)	838枚
マイクロフィルム複写申請数	3,078枚
レファレンス対応数	1,164件
インフォメーション対応数	1,343件
WEB-OPAC検索利用数	3,411,737件
ALC検索利用数	110,117件

2 夏休み！こども歴史学習相談

夏休みの自由研究や調べ学習に関するレファレンス対応を図書室で行った。実施にあたっては専用書架を設け、図書リストを作成し、事前周知を行った。

期 間 令和元年7月15日(月・祝)～9月1日(日)

対応人数 477人

3 図書室内ミニ展示

図書室が所蔵する資料から、話題性のあるテーマで特集展示を計4回行った。

展示テーマ	会 期	担 当
新元号「平成」を伝えた雑誌	4月12日～6月30日	井上美奈子(司書)
東京オリンピックを振り返る —資料に見る1964	7月6日～9月29日	小宮山めぐみ(司書)
洋書にみる浮世絵図版	10月18日～1月19日	阿部陽子(司書)
上野動物園のグラフ誌今昔 : 表紙をかざった人気者たち	1月24日～2月28日	楯石もも子(司書)

4 特集図書コーナー

企画展・特別展や時事に合わせて図書の特集コーナーを設置した。

特集テーマ	会 期	担 当
特別展「江戸の街道をゆく～将軍と姫君の旅路～」	4月27日～6月16日	井上美奈子(司書)
企画展「発掘された日本列島 2019 地域展 「道灌がみた南武蔵」	6月1日～7月21日	鳥越千尋(司書)
特別展「江戸のスポーツと東京オリンピック」	7月6日～8月25日	小宮山めぐみ(司書)
特集「戦争の記録～日記を中心に～2019年」	7月15日～9月1日	井上美奈子(司書)
特集「和装本や製本がわかる本」	7月29日～9月1日	楯石もも子(司書)
企画展「いきものがたり - 江戸東京のくらしと動物 -」	8月6日～9月23日	楯石もも子(司書)

特集「東京オリンピック・パラリンピック関連図書」	8月27日～2月28日	小宮山めぐみ（司書）
特別展「士<サムライ>天下太平を支えた人々」	9月14日～11月4日	栗原智久（司書）
企画展「18世紀ソウルの日常－ユマンジュ日記の世界」	10月22日～12月1日	楯石もも子（司書）
特集展「永井荷風と江戸東京の風景」	11月6日～1月5日	井上美奈子（司書）
特別展「大浮世絵展－歌麿、写楽、北斎、広重、国芳 夢の競演」	11月19日～1月19日	阿部陽子（司書）
企画展「天下泰平－将軍と新しい文化の創造－」	1月2日～2月16日	鳥越千尋（司書）
特集「動物園いまむかし」	1月24日～2月28日	楯石もも子（司書）
特別展「江戸ものづくり列伝－ニッポンの美は職人の技と心に宿る－」	2月8日～2月28日	井上美奈子（司書）

5 職場体験受入

江戸東京博物館で職場体験の受入をした中学校のうち、下記期間は図書室において、図書配架、図書出納サービス、図書装備、データ入力等の作業を行った。

令和元年7月9日 墨田区立両国中学校 2人

令和元年8月29日 江東区立深川第二中学校 3人

令和元年9月11日 文京区立第六中学校 4人

令和元年11月22日 都立白鷗高等学校附属中学校 4人

VII 教育普及

1 えどはくカルチャー

都市歴史研究室が行っている調査研究活動の成果をわかりやすく解説する講座、特別展・企画展の関連講座、合計56講座を開催した。

期 間	令和元年5月14日（火）～令和2年2月28日（金）	3月以降は休止
会 場	大ホール、小ホール、レクチャールーム等	
受 講 料	各講座 一般 1,000円（一部例外あり、セット割引あり） 友の会、ボランティア 800円（同上）	
受講者数	6,292人	
講 座 数	56講座	

春講座 計9回(512人) ※イタリックは外部講師

回数	実施日	講 座 名	講師	参加人数
1	5月14日(火)	「江戸の街道をゆく～将軍と姫君の旅路」 ①「五街道」成立の前提～戦国時代の幹線道路	齋藤 慎一	60

2	5月16日(木)	隠居大名の文化活動～柳澤信鴻の『宴遊日記』を中心に①	小澤 弘	59
3	5月21日(火)	「江戸の街道をゆく～将軍と姫君の旅路」 ②将軍家御台所の旅路	杉山哲司	49
4	5月28日(火)	「江戸の街道をゆく～将軍と姫君の旅路」 ③幕末の行列イメージ～「東海道名所風景」と「末広五十三次」～	浦木賢治	60
5	5月30日(木)	隠居大名の文化活動～柳澤信鴻の『宴遊日記』を中心に②	小澤 弘	58
6	6月4日(火)	家訓にみる江戸時代の商人像	市川 寛明	53
7	6月6日(木)	皇室と美術	太田 彩	61
8	6月18日(火)	プレ古文書講座 声に出して読む古文書①	市川 寛明	54
9	6月25日(火)	プレ古文書講座 声に出して読む古文書②	市川 寛明	58

夏講座 計20回(3,031人)

回数	実施日	講座名	講師	参加人数
10	7月19日(金)	特別展「江戸のスポーツとオリンピック」関連講座①	沓沢 博行	56
11	7月23日(火)	財団連携講座① (東京都庭園美術館「建物公開」展) 「朝香宮邸の庭園について」	田中 実穂	88
12	7月30日(火)	財団連携講座② (東京都庭園美術館「建物公開」展) 「朝香宮邸の室内装飾」	大木 香奈	107
13	8月1日(木)	ホールリニューアル記念 エドはくカルチャースペシャル①特別講演 「茶室—日本独自の不思議な空間」	藤森 照信	310
14	8月1日(木)	ホールリニューアル記念 エドはくカルチャースペシャル②「家康が見た江戸」	齋藤 慎一	310
15	8月1日(木)	ホールリニューアル記念 エドはくカルチャースペシャル③「江戸文化の個性について—大衆化と商品化の観点から—」	市川 寛明	310
16	8月2日(金)	ホールリニューアル記念 エドはくカルチャースペシャル④「異文化を伝えた人—お雇い外国人モースと陶器コレクション—」	小林 淳一	246
17	8月2日(金)	ホールリニューアル記念 エドはくカルチャースペシャル⑤「名所江戸百景 再考」	小山 周子	246
18	8月2日(金)	ホールリニューアル記念 エドはくカルチャースペシャル⑥「明治の写真・印刷・出版—帝室技芸員 小川一真を中心に—」	岡塚 章子	246
19	8月9日(金)	和本を作ってみよう！午前コース	楯石もも子	10

20	8月9日(金)	和本を作ってみよう！午後コース	楯石もも子	12
21	8月12日(月)	和楽器を体験！水道管尺八	田嶋 謙一 川村 葵山	8
22	8月16日(金)	特別展「江戸のスポーツとオリンピック」関連講座②	杓沢 博行	44
23	8月21日(水)	和暦と西暦①「和暦とは、西暦とは」	近松 鴻二	109
24	8月22日(木)	寛永の江戸①「江戸図屏風にみる城郭都市・江戸」	小澤 弘	183
25	8月28日(水)	伊賀者と江戸城①「徳川幕府の伊賀者と江戸城の防衛」	高尾 善希	197
26	8月29日(木)	寛永の江戸②「儀礼屏風一双に見る家光と天海」	小澤 弘	154
27	9月4日(水)	和暦と西暦②「和暦の西暦表示の問題点と解決策」	近松 鴻二	100
28	9月11日(水)	伊賀者と江戸城②「新発見文書から見る徳川幕府の伊賀者―松下家文書の紹介―」	高尾 善希	176
29	9月19日(木)	江戸東京の庭園探訪	田中 実穂	119

秋講座 計17回(2,048人)

回数	実施日	講座名	講師	参加人数
30	10月3日(木)	特別展「土サムライ」関連講座① 「幕府御家人の出自と由緒」	田原 昇	219
31	10月4日(金)	江戸東京 花の今昔① 『菊花壇養種』に見る菊の楽しみ	田中 実穂	35
32	10月17日(木)	特別展「土サムライ」関連講座② 「百姓・町人と苗字帯刀」	小酒井大悟	217
33	10月18日(金)	江戸東京 花の今昔② 『菊花壇養種』による花の育て方	田中 実穂	32
34	10月30日(水)	旅する長崎学「日本文化に変革の風 1654～隠元禅師と黄檗文化～」	木村 得玄 成澤 勝嗣 本馬 貞夫	102
35	10月31日(木)	特別展「土サムライ」関連講座③ 「旗本の勤めと生活」	深井 雅海	219
36	11月15日(金)	永井荷風生誕140年・没後60年記念連続講座① 「永井荷風の近代」	中島 国彦	84
37	11月19日(火)	企画展 18世紀ソウルの日常―ユマンジュ日記の世界― 「18世紀ソウルの日常」展の見どころ	市川 寛明	128
38	11月19日(火)	企画展 18世紀ソウルの日常―ユマンジュ日記の世界― 「風水都市漢城と現代ソウル」	吉田 光男	
39	11月22日(金)	永井荷風生誕140年・没後60年記念連続講座② 「荷風と江戸文学」	多田 蔵人	83

40	11月27日(水)	特別展「大浮世絵展」 関連講座 ① 目からウロコの浮世絵入門・歌麿、写楽、北斎、広重、国芳	神谷 浩	233
41	11月29日(金)	永井荷風生誕140年・没後60年記念連続講座③ 「荷風と明治の都市」	南 明日香	95
42	12月6日(金)	永井荷風生誕140年・没後60年記念連続講座④ 「荷風と出版メディア」	岸川俊太郎	75
43	12月11日(水)	特別展「大浮世絵展」 関連講座 ② 花鳥版画ー北斎・広重を中心に	由良 濯	206
44	12月13日(金)	永井荷風生誕140年・没後60年記念連続講座⑤ 「荷風と東京風景」	湯川 説子	98
45	12月18日(水)	特別展「大浮世絵展」 関連講座 ③ 展覧会の見どころー後期展示を中心に	小山 周子	201
46	12月20日(金)	江戸東京歴史散歩「江戸東京の庭園を見る・歩く」 浜離宮恩賜庭園	田中 実穂	21

新春講座 10回(701人)

回数	実施日	講座名	講師	参加人数
47	1月14日(火)	企画展「天下泰平」関連講座①「天下泰平」展見どころ	川口 友子	104
48	1月18日(土)	たてもの園セミナー ①小出邸とその設計者、堀口捨己について(その1)	山崎 鯛介	21
49	1月18日(土)	たてもの園セミナー 小出邸とその設計者、堀口捨己について(その2)		
50	1月21日(火)	企画展「天下泰平」関連講座 ②十一代将軍徳川家斉と『徳川実紀』	岩立 将史	136
51	1月30日(木)	庭園×エリアガイド ①小石川後樂園と小石川	田中 美穂	93
52	2月1日(土)	たてもの園セミナー 特別展「小出邸と堀口捨己」関連 ②「小出邸と堀口捨己」展の見どころ	安藤 亜由美	41
53	2月13日(木)	庭園×エリアガイド ②旧芝離宮恩賜庭園と芝	田中 美穂	83
54	2月21日(金)	特別展「ものづくり」関連講座 ①「江戸ものづくり列伝」見どころ	田中 裕二	81
55	2月27日(木)	庭園×エリアガイド ③浜離宮恩賜公園と汐留・新橋	田中 美穂	63
56	2月28日(金)	特別展「ものづくり」関連講座 ②抱一と羊遊斎ー「蔓梅擬目白蒔絵軸盆」の魅力	岡野 智子	79

2 国際交流事業

(1) 日中韓博物館国際シンポジウム

東京都江戸東京博物館と中国・北京首都博物館、韓国・ソウル歴史博物館、中国・瀋陽故宮博物館（平成18年度より参加）の4館で首都における歴史博物館の交流の一環として、平成14年度から毎年輪番制で国際シンポジウムを開催している。

今年度の第18回日中韓博物館国際シンポジウムは、令和元年10月22日に当館1階小ホールにて開催された。今回はシンポジウムの共通テーマ「都市機能と博物館」を設定し、計7本の発表があった。

〈第18回日中韓博物館国際シンポジウム〉

所 属	発表者	テーマ
江戸東京博物館	藤森照信	茶室という特異な都市建築について
ソウル歴史博物館	朴 相彬	最近のソウル歴史博物館における新たな2つの試み
瀋陽故宮博物館	曾 陽	国内の都市、都市における館 －博物館の活動都市機能 瀋陽故宮博物館を例に
北京首都博物館	韓 戦明	都市機能の拡充と古都文化の伝承－首都博物館の首都 シリーズ展を事例に
江戸東京博物館	早川典子	都市博物館における建築資料の保存と建築展示について
ソウル歴史博物館	安スルギ	都市機能とその変容を理解するための証拠集め － ソウル歴史博物館の資料収集と管理を中心に －
瀋陽故宮博物館	于 穎	「文博」の強みを生かして都市の発展を促進

(2) ICOM 京都大会

第25回ICOM（国際博物館会議）京都大会のCAMOC（都市博物館のコレクション・活動国際委員会）年次会議（9月2日～5日）を共催し、当館職員が発表を行った。9月8日（日）にはCAMOCポストカンファレンスツアーを当館に受入れ、各国博物館職員20人に常設展を案内し、意見交換を行った。

発表者：小林淳一

テーマ：「グローバリゼーションと都市博物館の役割」

3 えどはく寄席

日 程 来館者数の多い時期に開催日を絞り、新緑寄席・ひまわり寄席・紅葉寄席・伝統芸能ウィーク・正月寄席・ファミリー寄席を実施した。今年度は広報をわかりやすくするため、1日あたりの開催回数を2回に戻し、時間も統一して実施した。

客 数 49,200人

内 容 伝統芸能の継承・普及及び常設展示室の賑わいの演出を目的に、常設展示室5階中村座前で、落語、漫才、紙切り、かつぽれ、太神楽、邦楽、ジャグリング、曲芸などを実演した。例年のような時節に合ったプログラムのほか、ゴールデンウィークや学校団体の多い11月の平日に、教育普及プログラムの一環として、和楽器や落語のワークショップ行い事業の充実を図った。また、8月に大ホールおよび小ホールがリニューアルオープンしたことを記念し、8月から3月まで、落語、邦楽、大衆歌謡、英

語落語、クラシック音楽のホール公演、5本を企画した。3月開催予定だったクラシック音楽公演は新型コロナウイルス感染拡大防止により中止となった。

【実績一覧】

日付	演目	出演者	観客数
4月13日	江戸芸かっぽれ	桜川ぴん助社中	584
4月21日	新内	富士松延治太夫	308
4月28日	新内	富士松延治太夫	320
4月29日	江戸芸かっぽれ	桜川ぴん助社中	1,100
4月30日	新内	富士松延治太夫	923
5月1日	ワークショップ和楽器を楽しもう	富士松延治太夫	860
5月2日	ワークショップ和楽器を楽しもう	富士松延治太夫	400
5月3日	ワークショップ和楽器を楽しもう	富士松延治太夫	438
5月5日	ワークショップ和楽器を楽しもう	富士松延治太夫	430
5月6日	ワークショップ和楽器を楽しもう	富士松延治太夫	335
5月11日	江戸芸かっぽれ	桜川ぴん助社中	570
5月12日	江戸芸かっぽれ	桜川ぴん助社中	660
5月13日	太神楽	仙丸	279
5月19日	江戸芸かっぽれ	桜川ぴん助社中	694
5月20日	太神楽	仙丸	293
5月26日	新内	富士松延治太夫	381
6月8日	江戸芸かっぽれ	桜川ぴん助社中	490
7月13日	江戸芸かっぽれ	桜川ぴん助社中	574
7月14日	太神楽	桧山うめ吉	980
7月15日	動物ものまね	江戸家まねき猫	798
7月19日	怪談（怪談）	初音家左橋	117
7月21日	新内	富士松延治太夫	485
7月26日	怪談（怪談）	入船亭扇治	125
7月28日	新内	富士松延治太夫	545
8月1日	太神楽、曲独楽	仙丸・朱仙	103
8月2日	落語（怪談）	隅田川馬石	131
8月3日	落語と納涼住吉踊	古今亭志ん陽、翁家和助・小花、古今亭志ん弥	186
8月4日	落語	三遊亭遊子、三遊亭金八、三遊亭とん馬	135
8月4日	落語と納涼住吉踊	三遊亭ときん、立花家橘之助、三遊亭金時	271

8月9日	俗曲、ジャグリング、落語（怪談）	柳家小菊、ストレート松浦、柳家小せん	567
8月11日	動物物まね、ジャグリング	江戸家小猫、ストレート松浦	1,091
8月12日	俗曲・紙切り	柳家小菊、林家二楽	1,045
8月13日	ジャグリング、紙切り	ストレート松浦、林家楽一	1,008
8月14日	動物物まね、太神楽	江戸家まねき猫、鏡味仙志郎	1,062
8月15日	俗曲、紙切り	柳家小菊、林家二楽	908
8月16日	落語（怪談）	三遊亭金時	302
8月18日	俗曲・紙切り	桧山うめ吉、林家二楽	792
8月23日	落語（怪談）	三遊亭金時	204
8月25日	新内	富士松延治太夫	514
8月30日	落語（怪談）	三遊亭萬窓	168
9月8日	俗曲、ジャグリング	桧山うめ吉、ストレート松浦	530
9月9日	紙切り、太神楽	林家楽一、翁家和助	269
9月14日	江戸芸かつぼれ	桜川ぴん助社中	685
9月15日	紙切り、太神楽	林家楽一、翁家和助	915
9月15日	浮世絵と邦楽	山木千賀、花柳源九郎ほか	209
9月16日	俗曲、動物物まね	桧山うめ吉、江戸家まねき猫	802
9月22日	俗曲、太神楽	桧山うめ吉、翁家和助	683
9月23日	新内	富士松延治太夫	507
10月1日	木遣り	江戸消防記念会	1,897
10月12日	江戸芸かつぼれ	桜川ぴん助社中	中止
10月13日	太神楽、落語	鏡味仙成、三遊亭ときん	中止
10月14日	俗曲、落語	桧山うめ吉、三遊亭金朝	536
11月2日	モダン東京の流行歌	東京大衆歌謡楽団	361
11月6日	ワークショップ和楽器を楽しもう	三遊亭金時、三遊亭ときん	270
11月7日	ワークショップ 落語を楽しもう	三遊亭金時、三遊亭金也	377
11月8日	ワークショップ 落語を楽しもう	富士松延治太夫	445
11月9日	江戸芸かつぼれ	桜川ぴん助社中	618
11月10日	新内	富士松延治太夫	409
11月12日	ワークショップ和楽器を楽しもう	富士松延治太夫	292
1月2日	獅子舞、箏・尺八、からくり	古今亭志ん丸・三遊亭金八、奥山益勢・武田旺山、夢からくり一座	5,550
1月3日	獅子舞、箏・尺八、からくり	古今亭志ん丸・三遊亭金八、奥山益勢・武田旺山、夢からくり一座	5,500
1月4日	からくり	夢からくり一座	1,938
1月5日	からくり	夢からくり一座	1,160
1月11日	江戸芸かつぼれ	桜川ぴん助社中	523

1月12日	太神楽、俗曲	鏡味仙成、林家あずみ	841
1月13日	俗曲、ジャグリング	柳家小菊、ストレート松浦	671
1月18日	英語で RAKUGO!	立川志の春	217
1月19日	俗曲、太神楽	林家あずみ、鏡味仙成	711
1月20日	紙切り、俗曲	林家二楽、桧山うめ吉	345
1月26日	新内	富士松延治太夫	414
2月8日	江戸芸かっぱれ	桜川ぴん助社中	349
3月14日	江戸芸かっぱれ	桜川ぴん助社中	中止
3月20日	太神楽、粹曲	翁家和助・小花、柳家小菊	中止
3月22日	新内	富士松延治太夫	中止
3月29日	俗曲、紙切り	立花家橘之助、林家二楽	中止
3月28日	フランスの香りを江戸博で!	新日本フィル木管五重奏団	中止

4 ふれあい体験教室

ふれあいボランティアが企画・運営する伝統的な文化や芸能の体験型事業や、高齢者や子供を対象とした参加型事業を実施した。

実施回数 41件
参加者数 1,160人

〔実績一覧〕

日程	内容	人数
4月6日	「ぶんぶんコマ」を作ろう!	27
4月13日	和算パズル	24
4月13日	反古紙で折る小物	30
4月21日	ときめきキモノ体験	19
4月27日	藍でコースターを染めてみよう	60
4月28日	両国界隈を歩く	31
5月18日	歌舞伎の鳴り物を鳴らしてみよう	90
5月25日	江戸城西側外堀沿いの大名屋敷を歩く	17
6月8日	和算パズル、反古紙で折る小物	29
6月22日	江戸文様で遊ぼう	70
6月29日	手描き風鈴を作ろう	19
7月6日	藍のてるてる坊主を作ろう	64
7月13日	和算パズル	17
7月13日	反古紙で折る小物	23
7月21日	ときめきユカタ体験	23

8月2日	江戸切り子体験教室	19
8月3日	江戸切り子体験教室	17
8月4日	からくり玩具 はしごくだりを作ろう！	4
8月17日	歌舞伎の化粧をしてみよう	4
8月18日	浮世絵摺り体験教室	18
8月25日	ときめきユカタ体験	40
9月7日	万華鏡で遊ぼう	14
9月14日	反古紙で折る小物	31
9月14日	和算パズル	21
9月28日	秋の建て染め体験	38
9月29日	江戸四宿：北の玄関口千住宿を歩く	19
10月6日	三越双六で遊ぼう！	14
10月27日	ときめきキモノ体験	18
11月9日	反古紙で折る小物	20
11月9日	和算パズル	11
11月9日	歌舞伎の化粧をしてみよう（大人）	7
11月17日	神田上水関口大洗堰跡と付近の大名屋敷庭園を訪ねる	15
11月24日	ときめきキモノ体験	22
11月30日	万華鏡で遊ぼう	中止
12月7日	ぽち袋を摺ろう	31
12月21日	『凧』づくりに参加してみませんか	12
1月11日	反古紙で折る小物	42
1月11日	和算パズル	31
1月11日	三越双六で遊ぼう！	10
1月18日	歌舞伎の鳴り物を鳴らしてみよう	150
1月26日	ときめきキモノ体験	9
2月23日	ときめきキモノ体験	—
2月29日	「立版古」浮世絵を組み立てよう	—
3月7日	歌舞伎の化粧をしてみよう（大人）	—
3月7日	万華鏡で遊ぼう	—
3月14日	反古紙で折る小物	—
3月14日	和算パズル	—
3月22日	ときめきキモノ体験	—

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、2月・3月は中止とした。

5 ミュージアムトーク

日 時 毎週金曜日の 16 時～16 時 30 分

回 数 計 45 回

参加者数 1,100 人

学芸員による展示解説。企画展や特集展示などの特別企画の他、常設展示各コーナーにおける展示内容を詳しく紹介した。

[実績一覧]

日 時	担 当	コーナー・テーマ	人数
4 月 5 日	栗屋 朋子	企画展「おくりもの 2018」	11
4 月 12 日	栗屋 朋子	企画展「おくりもの 2018」	9
4 月 19 日	川口 友子	江戸の商業	6
4 月 26 日	川口 友子	江戸の商業	12
5 月 3 日	松井 かおる	モダン東京	46
5 月 10 日	松井 かおる	モダン東京	12
5 月 17 日	熊谷 紀子	出版と情報	12
5 月 24 日	熊谷 紀子	出版と情報	6
5 月 31 日	西村 直子	江戸の美	25
6 月 7 日	齋藤 慎一	地域展「道灌がみた南武蔵」	27
6 月 14 日	菅井 薫	文明開化東京	30
6 月 21 日	齋藤 慎一	地域展「道灌がみた南武蔵」	27
6 月 28 日	菅井 薫	文明開化東京	11
7 月 5 日	津田 紘子	市民文化と娯楽	12
7 月 12 日	津田 紘子	市民文化と娯楽	17
7 月 19 日	川口 友子	文化都市江戸	51
7 月 26 日	川口 友子	文化都市江戸	18
8 月 2 日	松井 かおる	空襲と都民	23
8 月 9 日	西村 直子	企画展「いきものがたり」	34
8 月 16 日	松井 かおる	空襲と都民	53
8 月 23 日	西村 直子	企画展「いきものがたり」	31
8 月 30 日	松井 かおる	特集展示「浮世絵と邦楽」	13
9 月 6 日	松井 かおる	特集展示「浮世絵と邦楽」	18
9 月 13 日	橋本 由起子	関東大震災	23
9 月 20 日	橋本 由起子	関東大震災	24
9 月 27 日	齋藤 慎一	江戸城と町割り	16

10月4日	川口 友子	町のくらし	20
10月11日	川口 友子	町のくらし	16
10月18日	松井 かおる	よみがえる東京	18
10月25日	市川 寛明	企画展「18世紀のソウル」	29
11月1日	市川 寛明	企画展「18世紀のソウル」	32
11月8日	松井 かおる	よみがえる東京	16
11月15日	西村 直子	芝居と遊里	23
11月22日	湯川 説子	企画展「永井荷風と東京の風景」	36
11月29日	西村 直子	芝居と遊里	28
12月6日	湯川 説子	企画展「永井荷風と東京の風景」	32
12月13日	川口 友子	江戸から東京へ	39
12月20日	川口 友子	江戸から東京へ	18
1月10日	齋藤 慎一	天下泰平	54
1月17日	徳川記念財団	天下泰平	43
1月24日	川口 友子	天下泰平	41
1月31日	川口 友子	江戸の商業	26
2月7日	西村 直子	江戸の四季と盛り場	18
2月14日	西村 直子	江戸の四季と盛り場	30
2月21日	川口 友子	江戸の商業	14

6 博物館ボランティア

市民とのコミュニケーションを豊かにし、市民の協力や協働のもとに生涯学習社会にふさわしい開かれた博物館を目指して館の活性化を図るため、江戸東京博物館（本館）では平成9年10月1日、江戸東京たてもの園（分館）では平成8年12月4日からボランティア制度の試行、実施を行った。

本年は、本館257名、分館162名体制により、本館では9,894件のガイド、分館では茅葺き農家燻煙及び団体案内ガイド、自主活動等を行った。

※新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止による休館に伴い、2月29日から活動休止。

(1) 本館ボランティア

① 登録人数（令和2年3月31日現在）

展示ガイドボランティア 231名

ふれあいボランティア 26名

合計（延べ人数） 257名

② 活動日時

展示ガイド

火曜日～日曜日（開館日） 10時～16時

毎日20～30名程度のグループで活動
ふれあいスタッフ

9つの班に分かれ、全体で年間41回の体験教室を実施

③ 活動内容

日本人及び外国人来館者に対する常設展の案内（日本語、英語、中国語、韓国語、フランス語、ドイツ語、スペイン語、イタリア語）

江戸東京の伝統・文化に関するワークショップ（「ふれあい体験教室」）の運営

④ 対応件数（平成31年4月～令和2年3月）

外国語による案内件数 4,501件

日本語による案内件数 5,393件

団体事前案内件数 0件

スポット解説 55件

⑤ ボランティア対象の研修

研修実施回数 3回

研修参加者数（延べ人数） 35人

(2) 分館ボランティア

① 登録人数（令和2年3月31日現在） 162名

② 活動日時

火曜日～日曜日（開園日）

9時45分～17時（4月～9月）、9時45分～16時（10月～3月）

曜日班に分かれ毎日20～30名で活動

③ 活動内容

茅葺民家の囲炉裏・かまどでの燻煙、来園者へのガイド、たてもの園事業への協力

④ 対応件数（平成31年4月～令和2年2月）

茅葺民家の燻煙 249日

園内ガイド（グループガイド） 163件

園内ガイド（定時ガイド） 219件

たてもの園事業への協力

情景再現事業、学校連携事業、年中行事の展示協力等

⑤ ボランティア対象の研修

研修実施回数 21回

研修参加者数（延べ人数） 543人

7 人材の育成

江戸東京の歴史と文化に関わる情報と博物館に対する理解を深めるため、さまざまな研修等を実施し、人材育成を図った。

(1) 学芸員実習の受入れ

将来の博物館を担う人材の育成と、当館の博物館活動の社会還元のために、学芸員資格取得に必要な博物館実習を受け入れた。

申込数 31校

受入者数 20名

期間 令和元年8月28日（水）～9月5日（木）

カリキュラム

	実施日	スケジュール	実施内容	実施形式	担当係
1	8月28日 (水)	午前	【オリエンテーション】事業企画係 長挨拶、実習担当者紹介		展示事業係
			館長講和	講義	館長
			実習生自己紹介、諸注意、保険料徴 収		
		午後	【常設展示・教育普及活動】常設展 示、教育普及、ボランティア	講義	事業企画課長
			【博物館の現状と課題】	講義	副館長
			【事務連絡】		展示事業係
	【常設展示見学・解散】動線確認・ 見学	見学	展示事業係		
2	8月29日 (木)	午前	【朝会】日誌回収、事務連絡		展示事業係
			【資料の収集と保管】資料の収集と 保管	講義	資料係
			【バックヤード・収蔵庫見学】見学	見学	資料係
		午後	【資料の収集・撮影・保管】資料カ ード作成、掛軸・巻子の扱い、写真 撮影	実習	展示事業係
			【事務連絡】		展示事業係
3	8月30日 (金)	午前	【朝会】日誌回収、事務連絡		展示事業係
			【特別展・企画展】展覧会の作り 方、展示実習について	講義	展示事業係
		午後	【展示実習】図書室の使い方	講義	司書
			【展示実習】準備構想（展覧会基本 計画の立案、チラシ作成）	実習	展示事業係
			【事務連絡】事務連絡		展示事業係
4	9月3日 (火)	午前	【朝会】日誌回収・事務連絡		展示事業係
			【たてもの園】概要・普及事業	講義	たてもの園係
			【たてもの園】収蔵建造物及び演示 品クリーニング	実習	たてもの園係
		午後	【たてもの園】普及事業立案の説明	実習	
			【たてもの園】グループワーク	実習	たてもの園係
			【たてもの園】グループワーク発 表、講評	実習	たてもの園係
			【事務連絡】		展示事業係
5	9月4日 (水)	午前	【朝会】日誌回収、事務連絡、展覧 会基本計画・チラシ案提出		展示事業係

			【展示実習】展示準備（キャプション等）	実習	
		午後	【展示実習】展示構想検討会1	実習	展示事業係
			【展示実習】展示構想検討会2	実習	展示事業係
			【展示実習】展示準備（展示方法解説・演示具選定）	実習	展示事業係
			【事務連絡】事務連絡		展示事業係
6	9月5日 (木)	午前	【朝会】日誌回収、事務連絡		展示事業係
			【展示実習】展示作業（資料搬入、演示具搬入、展示作業）	実習	展示事業係
		午後	【展示実習】展示作業（資料搬入、演示具搬入、展示作業）	実習	展示事業係
			【展示実習】発表、講評	実習	展示事業係
			【片付け】片付け	実習	展示事業係
			【学芸員実習まとめ】反省会、事務連絡		展示事業係

(2) 博学連携

当館の入館者増とリピーターの確保及び平成14年度から実施された完全学校週五日制と「総合的学習」に対応するため、博物館と学校との連携事業を展開した。当館を学習の場として希望する生徒を対象に「訪問学習」を実施した。

〈訪問学習の実施〉

学芸員及び博学ボランティア（7名）による歴史学習への対応

参加人数 263人

参加学校数 32校

② 職場訪問の実施

参加人数 198人

参加学校数 38校（中学校35、高等学校3）

(3) その他の研修受入れ

首都大学東京現場体験型インターンシップ

参加人数 3名

実施時期・内容

・本館 令和元年8月21日（水）～8月23日（金）教育普及事業補助等

VIII 施設維持管理・貸出等

1 博物館管理運営東京都江戸東京博物館（本館及び分館）の指定管理者として、館の円滑な管理運営を図るため、各種会議・委員会を開催した。

(1) 東京都江戸東京博物館運営委員会

館の運営及び事業活動について、広い視野から助言を得、適正かつ円滑な館運営に資するため、東京都江戸東京博物館運営委員会を設置している。

○ 東京都江戸東京博物館運営委員会委員（令和2年3月現在）

- 会 長 市 村 佑 一（江戸川学園理事、前江戸川大学学長）
副 会 長 久留島 浩（国立歴史民俗博物館館長）
委 員 池 山 世津子（元渋谷区教育長）
委 員 伊 東 孝（日本イコモス国内委員会「技術遺産小委員会」主
査、元日本大学教授）
委 員 薄 井 和 男（神奈川県立歴史博物館館長）
委 員 越 澤 明（北海道大学名誉教授、一般財団法人住宅保証支援
機構理事長）
委 員 嵯 峨 実 允（東京都私立中高等学校協会推薦 学校法人町田学
園理事長）
委 員 吉 村 潔（全国小学校社会科研究協議会推薦 世田谷区立
烏山北小学校校長）
委 員 峰 岸 純 夫（首都大学東京名誉教授）
委 員 吉 見 俊 哉（東京大学大学院情報学環・学際情報学府教授）

○平成31年度第1回東京都江戸東京博物館運営委員会復元建造物部会

日 時 令和元年7月22日（月）10時30分から12時まで
場 所 江戸東京たてももの園 会議室

（1）審議事項

- ・前川國男邸・田園調布の家 耐震補強工事実施設計について

（2）報告事項

- ・小出邸 耐震診断の結果について
- ・丸二商店（長屋） 耐震診断の結果について
- ・長期修繕計画について
- ・補修工事（H30）の内容について

○平成31年度第2回東京都江戸東京博物館運営委員会復元建造物部会

日 時 令和元年2月20日（木）10時から12時まで
場 所 江戸東京たてももの園 会議室

（1）審議事項

- ・前川邸、大川邸の耐震補強方法について

（2）報告事項

- ・小出邸の耐震補強方法について
- ・子宝湯バリアフリー化の基本方針について
- ・H31年度修復補修工事実施設計について

○ 東京都江戸東京博物館運営委員会復元建造物部会専門委員（令和2年3月末現在）

- 部 会 長 中谷 礼二（早稲田大学理工学術院創造理工学部教授）
専門委員 津村 泰範（長岡造形大学造形学部建築・環境デザイン学科准教授）
専門委員 山崎 鯛介（東京工業大学環境・社会理工学院建築学系准教授）

（2） 外部評価委員会

当該年度の事業実績につき、設定目標が効果的に実行されているか館内部において自己評価し、事務改善に結び付けるために内部評価を行うとともに、その内部評価による事業実績報告について、客観的な視点から、検証を行うため外部評価委員会を設置して

いる。

○ 令和2年度東京都江戸東京博物館外部評価委員会

今回は書面による開催となった

- 内 容 1 平成31年度外部評価総合評定について
 2 令和2年度事業計画について

○ 東京都江戸東京博物館外部評価委員会委員

- 委員 長 半 田 昌 之 (日本博物館協会専務理事)
委 員 林 正 信 (江戸東京博物館友の会会長)
委 員 沓 澤 宣 賢 (東海大学教授)
委 員 松 田 幸 雄 (榊緑山スタジオ・シティ常務取締役)
委 員 村 田 孝 子 (ポーラ文化研究所 研究員)

○ 平成31年度江戸東京たてもの園外部評価委員会

- 日 時 平成31年4月
場 所 書面開催
内 容 1 平成31年度外部評価総合評定について
 2 平成32年度事業計画について

○ 江戸東京たてもの園外部評価委員会委員 (令和2年3月末現在)

- 委 員 安 西 香 月 (三鷹の森ジブリ美術館館長)
委 員 小 沢 朝 江 (東海大学教授)
委 員 小 野 一 之 (府中市郷土の森博物館館長)
委 員 藤 井 恵 介 (東京大学名誉教授)
委 員 藤 本 裕 (小金井市教育委員会生涯学習部長)

2 本館維持管理

東京都江戸東京博物館の施設・設備及び物品の維持管理、観覧料等の徴収事務、利用者サービス業務等を行った。

伝統文化発信の場としての機能を強化し、多くの都民の方々が伝統芸能の魅力に触れることができるよう、平成29年10月から実施していたホール等の改修工事を終え、令和元年8月、貸出施設をリニューアルオープンした

「東京都江戸東京博物館条例」に基づき、江戸及び東京の歴史と文化の振興に資する講演会、講習会、研究会、鑑賞会等を実施する団体に対し貸出した日数は、次のとおりであった。

大ホール105日、小ホール160日、会議室123日、学習室(合計)310日、
特別展示室310日

3 たてもの園維持管理

江戸東京たてもの園の施設・設備及び物品の維持管理、観覧料等の徴収事務、利用者サービス業務等を行った。

4 野外収蔵(庭園保全管理)

江戸東京たてもの園内の庭園保全のため、植栽の維持・管理業務等を行った。

5 AVシステムの運営

「館内CATV」「文字ディスプレイ」及び「展示解説システム」により施設・催事案内や常設展示の解説を行った行うとともに、「映像ライブラリー」において江戸東京に関連する映像ソフトを提供した。

〈映像ライブラリー〉

設置ブース数	14台（最大28人同時利用可）
映像ソフト数	456タイトル（平成24年3月31日現在）
アクセス回数	8,292回（平成31年4月1日～令和2年3月31日）

（年間目標利用回数13,000回／達成率63.7%）

「映像ライブラリー」では、特別展・企画展や年中行事等に合わせ、毎月5作品ずつ「おすすめ作品」を選定している。館内各種案内映像とちらしで紹介し、利用の活性化を図っている。

IX 広報事業

1 本館

種別	名称	実績
館内案内	江戸東京博物館案内リーフレット	日本語版 100,000部 英語版 30,000部 フランス語版 12,000部 中国語・簡体字 13,000部 中国語・繁体字 2,500部 韓国語版 2,500部 合計 160,000部
定期刊行物	江戸東京博物館ニュース	日本語版・英語版年4回発行 日本語版 計 240,000部 英語版 計 80,000部
取材対応		新聞・テレビ番組などによる取材に対応した。 対応件数 401件
インターネットホームページ	日本語版、英語版、中国語版、ハングル版	デザイン・内容を改訂し、わかりやすく魅力的なHPとした。年間カレンダーや重要なお知らせの表示方法を改善。アクセス件数 7,303,328件
スマートフォンサイト	日本語版、英語版、中国語版、ハングル版	ホームページと連動したスマートフォンサイトでの情報発信
その他の広報	PR活動	企画展プレス内覧会 5回
	チラシ・ポスターの発行（夏休みイベント）	① 夏休みイベント チラシ 50,000部 ポスター 85部

その他の広報		② 正月イベント チラシ 65,000部 ポスター 125部
	有料広告の出稿	① SNS広告 10日間 ② 上野駅デジタルサイネージ 1か月間
	ソーシャルメディアの活用	Twitterフォロワー数17,833人 Facebookフォロワー数1,390人
	公式キャラクター「ギボちゃん」の活用	ゴールデンウィーク、お正月の開館日に、ギボちゃんのきぐるみが常設展示室内に登場。来館者とふれあう機会を設ける。

【印刷物の作成】

種別	名称	実績
総合案内	『常設展示総合図録』	日本語版増刷 3,000部
総合案内	『図表でみる江戸東京』	日本語版増刷 1,000部

2 分館

種別	名称	実績
館内案内ガイド	江戸東京たてもの園 案内リーフレット	英語版 15,000部 中国語版(簡体字) 3,000部 中国語版(繁体字) 3,000部 韓国語版 4,800部 合計 25,800部
定期刊行物	たてもの園だより	年2回 延50,000部
	事業案内チラシ	年4回 延380,000部
取材対応		新聞・テレビ番組などによる取材に対応した件数 189件
その他広報	有料広告の出稿	新聞、雑誌による広告の他、JR武蔵小金井駅改札外のシート広告、西武新宿線車内ビジョン広告やサイネージ広告、WEB広告を実施した。

【ホームページ・SNSの活用】

- (1) ホームページアクセス件数（令和2年3月末現在）8,844,216件
- (2) ツイッターフォロワー数（令和2年3月末現在）22,751人
- (3) ブログ、ツイッター、フェイスブックにて随時情報発信

3 読売新聞「江戸博 蔵めぐり」掲載実績

回	掲載日	執筆者	資料名	タイトル
1	4月5日	西村 直子	金唐革弁当籠（弁当箱付）	花見のお供 お洒落に
2	4月19日	白井 麻美	『全日本自動車ショウ出品者案内』	車の祭典 胸躍る技術
3	4月26日	杉山 哲司	黒漆丸十紋散牡丹唐草蒔絵女乗物	島津家ゆかり 贅極める
4	5月17日	松井 かおる	籐製乳母車	技術示す宝船の装飾
5	5月24日	丸山 はるか	我楽他宗第三十三番札所天禄山蛙宝寺什宝三十三箇趣ノ内（其三）	カエルの宝物と一緒に
6	5月31日	杉山 哲司	東海道名所絵 東海道 鳴海	家茂の存在 朱傘で暗示
7	6月7日	齋藤 慎一	板碑 阿弥陀画像月待供養板碑	如来像刻み 安穏願う
8	6月21日	菅井 薫	『東京遊學案内』	上京学生へ 生活の心得
9	6月28日	齋藤 慎一	紅葉山惣絵図	江戸城の精神的中枢部
10	7月5日	川口 友子	東都名所年中行事七月 高輪廿六夜	粋な浴衣で宴 月愛でる
11	7月19日	西村 直子	長板中形浴衣地 京追掛紗綾地蛤文	表裏びたりと同じ柄
12	7月26日	沓沢 博行	桔梗葛袴（蹴鞠御門弟装束着用免状）	蹴鞠の階級最上位の証し
13	8月23日	西村 直子	鶉合之図屏風	自慢のウズラ美声競う
14	8月30日	津田 紘子	玩具絵 鯉	切り貼り 本物みたいに
15	9月6日	松井 かおる	隅田川船遊び	豪華な屋形船 宴席華やか
16	9月27日	小酒井 大悟	木扇（山岡鉄舟所用 手慣らし木扇）	鉄舟 剣術極意書き鍛錬
17	10月5日	松井 かおる	菊人形 市川団十郎・瀬川菊之丞 暫（模型）	人気役者 着飾る花々
18	10月18日	田中 実穂	『菊花壇養種』	菊の栽培法 詳しく紹介
19	10月25日	田原 昇	『安政風聞集卷之下』 船頭碇網を切り捨てんの図	暴風雨の海 船頭の活躍
20	11月1日	西村 直子	納戸綸子地紅葉賀模様小袖	源氏物語を暗示 謎解き
21	11月15日	橋本 由紀子	昭和東京風景版画百図絵頒布画 第一景 永代と清洲橋	近代都市へ 復興の橋
22	11月22日	湯川 説子	永井荷風より永井威三郎（弟）への書簡（葉書）	荷風 冬枯れの米国便り
23	11月29日	小山 周子	名所江戸百景 大はしあたけの夕立	激しい雨 先急ぐ人々
24	12月6日	小山 周子	富嶽三十六景 山下白雨	「黒富士」裾野に稲妻走る
25	1月17日	齋藤 慎一	梨子地葵紋散松菱梅花文様蒔絵鏡巢	婚礼調度 将軍家の威信
26	1月24日	菅井 薫	明治立身双六	露伴が示す立身への道
27	1月31日	川口 友子	『集古十種』	義経の兜 緻密に模写
28	2月7日	津田 紘子	大東京十二景の内 二月 濠端の残雪（麴町区）	お濠と議事堂に何思う
29	2月21日	落合 則子	瓢箪（小林礫斎のミニチュア工芸）	贅極めた精巧な玩具